

ウィークリー・ブレッド・オブ・ライフ

(2024年12月2日(月)～8日(日))

岸和田聖書教会

牧師 栗原純人

「ブレッド・オブ・ライフ」とは「いのちのパン」(ヨハネ 6:48)。「わたしはいのちのパンです」と言われるイエス・キリストさまをみことばによって食しましょう。今日一日の力です。以下の手順を参考に聖書を読みましょう。

1. 静まります。「しかし私は 義のうちに御顔を仰ぎ見 目覚めるとき 御姿に満ち足りるでしょう。」(詩篇 17:15)。神さまがあなたを呼んでおられます。
2. 声に出してその日の聖書日課を読みます。
3. 気づいたこと、わからないことなどをノートに箇条書きし、その後『みことばの光』、このブレッド・オブ・ライフの文章を読みます。わかったことがあったら、さらに書いてみましょう。
4. もう一度、聖書日課を読みます。違う響きがあるでしょうか？
5. 祈りましょう。実際に声に出して。そして祈りの中心部分を書いてみましょう。一日の終わりに、今朝の聖書を思い起こし、みことばがどのように生きたか、思い巡らしましょう。

アドベントに入りますが、今週もイザヤ書を続けて読みます。

12月2日(月)

今日の聖書日課：イザヤ 59：1～21

そうして、西の方では主の御名が、日の昇る方では主の栄光が恐れられる。それは、主が激しい流れのように来られ、その中で主の息が吹きまくっているからだ。

イザヤ 59：19

「見よ。主の手が短くて救えないのではない。その耳が遠くて聞こえないのではない。」(1)。このように始まる 59 章。イスラエルの咎が主と彼らとの仕切りとなっていること (2)、それゆえに彼らは暗闇の中にいる (9)。しかもそんな闇の中にいながらとりなす者もない。「それで、ご自分の御腕で救いをもたらし、ご自分の義を支えとされた。」(16)。「それで」滅ぼすのではなく「それで」救われるのです。イスラエルの敵としてではなく、彼らの味方として主は息を吹きまくられるのです。恐れつつも、このお方に立ち返りましょう (20)。聖霊とみことばは、あなたから離れません (21)。

12月3日(火)

今日の聖書日課：イザヤ 60：1～22

「起きよ。輝け。まことに、あなたの光が来る。主の栄光があなたの上に輝く。」

イザヤ 60：1

「輝け」といっても、あなたが光なのではありません。「あなたの光が来る」とあるけれど？ そうです。「主の栄光があなたの上に輝く」のです。「あなたの光」とは、あなたに向かって照らされる主の栄光なのです。しかし命じられています。「起きよ」と。「輝け」と。聖霊により、みことばを聞く (59:21)。その中で立ち上がるのです。輝く力が与えられているから。神を知らず暗闇の中を歩む人々にこの光を輝かせましょう。「主があなたの永遠の光」です。(19)

12月4日（水）

今日の聖書日課：イザヤ 61：1～11

神である主の霊がわたしの上にある。貧しい人に良い知らせを伝えるため、心の傷ついた者を癒やすため、主はわたしに油を注ぎ、わたしを遣わされた。捕らわれ人には解放を、囚人には釈放を告げ、イザヤ 61：1

この「わたし（私）」は、預言者イザヤと考えることもできますが、このことばをイエス・キリストが語られたゆえに、新改訳 2017 は「わたし」と訳しました。イエスはこの聖句を引かれ「あなたがたが耳にしたとおり、今日、この聖書のことばが実現しました。」と言われたのです（ルカ 4：21）。しかし、このメシア、キリスト・イエスを信じる私たちもまた、聖霊を受けて良い知らせを伝えるのです。イザヤのように。

12月5日（木）

今日の聖書日課：イザヤ 62：1～12

若い男が若い女の夫となるように、あなたの息子たちはあなたの夫となる。花婿が花嫁を喜ぶように、あなたの神はあなたを喜ぶ。

イザヤ 62：5

主に救われた者は主を喜ぶ。しかし、もう一つ大切なことがあります。主はご自分が救われた者を喜ばれるのです。「あなたの神はあなたを喜ぶ」のです。花婿が花嫁を喜ぶように。あなたは自分の存在が喜ばれていることを知っていますか？一瞬たりとも、その喜びが途絶えることはないのです。「彼らは、聖なる民、主に贖われた者と呼ばれ、あなたは、追い求められる者、見捨てられることのない都と呼ばれる。」（12）

12月6日（金）

今日の聖書日課：イザヤ 63：1～19

彼らが苦しむときには、いつも主も苦しみ、主の臨在の御使いが彼らを救った。その愛とあわれみによって、主は彼らを贖い、昔からずっと彼らを背負い、担ってくださった。

イザヤ 63：10

私たちが主を喜び、主も私たちを喜ぶ。同じように、私たちが苦しむときには、いつも主も苦しまれる。聖書はそう言います。「主が苦しむ」。こんなことばが聖書にあるのです。主の救いは、主の苦しみから来ているのです。苦しみ、そしてあわれみをもって救われる主に逆らうのもまたイスラエルの民であり、私たち（10）。いつでも思い出しましょう。この主の苦しみとあわれみを。

12月7日（土）

今日の聖書日課：イザヤ 64：1～12

しかし、今、主よ。あなたは私たちの父です。私たちは粘土で、あなたは私たちの陶器師です。私たちはみな、あなたの御手のわざです。

イザヤ 64：8

苦しみの中にいるとき、その苦しみが自らの罪のためであるとき、しかし私たちはこのように叫びます。いつまでも。

12月8日（日） 今日の礼拝説教箇所：ヤコブ 5：1～11「価値ある忍耐」

アドベント（待降節）第二主日。今年は、再臨のイエス・キリストに焦点を当てます。